

三重県歯科医師会報



THE REPORT OF THE MIE DENTAL ASSOCIATION



◆平成24年度県民公開講座

「口からはじまる健康づくり

～ダイエットからメタボ予防まで～」

◆平成24年度第2回学術研修会

「3DSを中心とした新しい予防歯科医療」

◆平成24年度学校歯科保健研修会

◆平成24年度学校歯科保健先進地視察研修



公益社団法人
三重県歯科医師会
<http://www.dental-mie.or.jp/>

2013
45
No. 661

平成24年度県民公開講座 第2回学術研修会	1
平成24年度学校歯科保健研修会	6
平成24年度学校歯科保健先進地視察研修	9
全国7地区日本歯科医師会 平成24年度災害コーディネーター研修会	12
みえ歯ートネット通信（平成24年度障害者歯科センター推進連絡協議会開催）	15
平成24年度第11回理事会（平成25年度事業計画等について協議）	16
平成24年度第6回郡市会長会議（がん患者歯科医療連携講習、5月にスタート）	18
平成24年度第12回理事会（互助会規程改正案、臨時代議員会上程へ）	22
医療管理（教育資金の一括贈与の非課税措置の創設）	24
<hr/>	
公益社団法人三重県歯科医師会 会長予備選挙結果について	25
2月・3月会務日誌	25
会員消息／新入会員プロフィール	27
平成24年10月・11月診療分歯科診療報酬状況	32
互助会の現況	33
三重県歯科医師国民健康保険組合	34
三重県歯科医師協同組合	36
編集後記	37

平成24年度 県民公開講座 第2回学術研修会

平成25年1月27日（日）

三重県歯科医師会館

鶴見大学歯学部探索歯学講座・花田信弘教授を講師に迎え、平成24年度県民公開講座並びに第2回学術研修会が開かれた。午前中の県民公開講座はう蝕と生活習慣病はともに炭水化物の過剰摂取によって引き起こされていること等が述べられ、栄養知識を身につけて「かかりつけ歯科医」とともに健康を守っていくことが推奨された。午後は歯科医療関係者向けの学術研修会として、日常的に起きている歯原性の菌血症が“最悪の健康阻害因子の一つ”であることが述べられ、これを阻止する唯一の武器として歯科医師が提供できる3DSが紹介された。

県民公開講座

口からはじまる健康づくり ～ダイエットからメタボ予防まで～

鶴見大学歯学部探索歯学講座
花田信弘教授



■ 完璧な栄養学よりも簡単な栄養知識を

「Done is better than perfect.」（完璧を目指すよりもまず終わらせろ）一、これはFacebookの創始者であるマーク・ザッカーバーグの言葉だが、これを健康づくりに置き換えれば、病気にならないような完璧な栄養学を学ぶことを目指すよりも、最低限知っておくべき栄養知識を身につけた方がよい、ということになるだろう。

研究レベルでは病気にならない方法は分かって

いる。無菌マウスや乳酸菌マウスのように悪い菌がない状態で育てれば、生活習慣病にならず天寿を全うできる。逆に雑菌が口や腸にいと天寿を全うできず途中でどんどん死んでしまう。人間も無菌マウスや乳酸菌マウスのような状態を目指せば病気にならない、ということになる。そのため方法の一つが医療であり、もう一つが、私たち一人ひとりが生活習慣を変えていくことである。

■ メタボリックシンドローム

メタボリックシンドロームの診断基準は、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cmの場合で、①高血圧 ②中性脂肪 ③低HDLコレステロール ④高血糖等が合併する場合をいう。

高血圧は血管を老化させるので避けなければならない。血圧は自分の年齢に100を足すくらいでよいという通説があるがこれは間違いである。確かに高齢者全体の血圧の平均値は高いが、100歳まで生きている方の血圧は若年者と変わらない。本態性高血圧の原因としては、塩分の過剰摂取・肥満・運動不足・アルコール過剰摂取・ストレス等が挙げられる。

内臓脂肪の脂肪細胞はインシュリン効果の低下を引き起こし、Ⅱ型糖尿病を悪化させるが、歯周病由来の内毒素も同様の症状を招く。血管内でインシュリンの働きが阻害されることにより全身の血管が老化してしまうⅡ型糖尿病を防ぐには、歯周治療を行うとともに中性脂肪の増加を防ぐ必要がある。そのためには油を食べ過ぎないようにすればよいと考えがちだが、原因はむしろ炭水化物の食べ過ぎである。十二指腸で吸収されたブドウ糖は約38%が肝臓に吸収され中性脂肪やコレステロールに変化する。残りは血糖になり、脂肪組織で中性脂肪へと変化する。炭水化物の不足は本能的に分かるが、たんぱく質や脂質の摂取不足は欠乏症（病気）になるまで分からないので知識によってバランスを取る必要がある。これが「簡単な栄養学」と言える。全身の栄養のバランスが崩れれば歯の健康も損なわれる。歯科診療所のスタッフも食事指導ができるだけの知識を身につける必要

がある。

コレステロールには悪玉コレステロール（LDL）と善玉コレステロール（HDL）があり、「過剰なLDL」または「過小なHDL（低HDLコレステロール）」の状態が全身の血管を老化させる。従ってLDLを減らしてHDLを増やしたいわけだが、脂質を減らせばLDLが減るわけではなく、これを食べたら（食べなければ）HDLが増えるという食品もない。対策としては血液中のLDLと中性脂肪を減らす（つまり食べ過ぎない）ことで、結果的にHDLの比率を高めていくようにする。炭水化物の摂り過ぎは血糖値を上昇させ、細胞中の中性脂肪を増加させることにより高血圧を招き、一方でLDLを増加させ高脂血症を引き起こす（図1）。

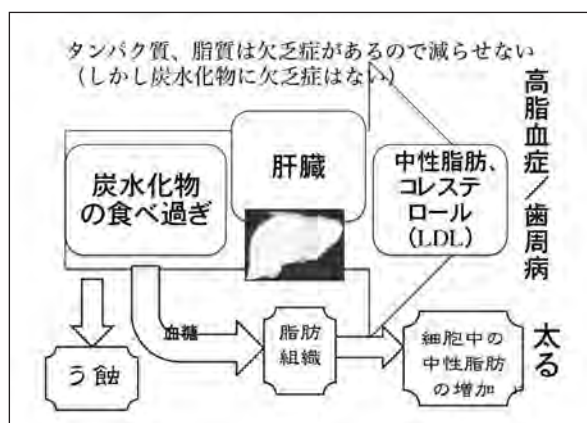


図1

また、歯周病が循環器に及ぼす悪影響は以下のように説明される。血管中に歯周病菌が入ることにより炎症が起こりその隙間にLDLが付着する。免疫性細胞がそれを食べて膨れあがり血管のプラークとなる（歯のプラークが血管のプラークを作る）。それが原因で血栓が生じ、脳梗塞や心筋梗塞の原因になる。

糖尿病になると血糖を細胞に取り込むことができなくなってしまう（GLUT4の機能低下）ため、血中にブドウ糖が蓄積した高血糖の状態になる。糖尿病になるとGLUT4の機能に依存している血管内被細胞・筋肉細胞・脂肪細胞・神経細胞等が死滅してしまうため様々な障害が起きる。

■ う蝕もメタボも炭水化物の過剰摂取

う蝕予防のための小児の食事指導は砂糖制限が中心だったが、高齢者では炭水化物による根面う蝕の予防に配慮しなければならない。炭水化物の過剰摂取を防ぐことはメタボ予防とも重なってくる。ヒトは唾液中にアミラーゼとマルターゼというデンプンを分解する酵素を備えている（ネコ科の動物やウシの唾液にはアミラーゼは含まれない）が、これは炭水化物を主要なエネルギー源とするための生物学的な適応である。う蝕や糖尿病、メタボリックシンドロームは過剰適応の結果による糖質過剰摂取の疾患と考えることもできる。

40～50歳になったら、若者と同じように食べるのではなく、炭水化物の摂取量を適切にコントロールすることが必要になってくる。食事バランスガイドで言うところの主食を減らし、主菜や副菜を多く摂るようにする。また、炭水化物の中では、デンプン等の糖質を食べないわけにはいかないが、糖類は避け、食物繊維を多く摂取するとよい。食べる順番も大切で、塩分を控えた素材の味で食べるものから食べてまず血糖値を上昇させる。それでも足りなかった時に炭水化物でエネルギー調節をするという考え方をするとよい（図2）。



図2

リンゴやミカン等でも糖度の高いものはおいしいと感じやすいが、血糖値が上がりやすいので注意が必要である。血糖値上昇の指標としてGI値（グリセミック・インデックス値）がある。これは、ブドウ糖を摂った時の血糖値上昇率を100と

このポスターは、平成24年度 県民公開講座 一般公開・参加費無料 「口からはじまる健康づくり ~ダイエットからメタボ予防まで~」の告知です。開催日は平成25年1月27日(日) 10:00~12:00(受付/9:00~)。会場は三重県歯科医師会館 津市桜橋2丁目120-2。講師は花田 信弘氏です。ポスターの中心には、大きな歯のイラストがあり、箸でつまんでいる様子で「よく噛む! それ健康の基本です」というメッセージが添えられています。下部には主催者「三重県歯科医師会」の連絡先（TEL: 059-227-6488, http://www.dentak-mie.or.jp）が記載されています。

し、その食べ物ではどれくらいの血糖値上昇率を示すかを相対的に示した数値である。目安としてはGI値が60を超えるものは避けた方がよいとされている。例えば精白米（GI値：81）より玄米（55）の方が、食パン（91）より小麦全粒粉パン（50）の方が推奨される（白いものより茶色いもの）。野菜類はほぼ60以下である。GI値が低い食材は固いものが多くなるため、義歯等で補綴している場合にはどうしても忌避されやすい。より多く自分の歯を残すことはこうした側面からも健康に寄与すると言える。

う蝕予防及び高血糖予防の観点からは、血糖に変化する速度が速い食事（高GI値食）より、その速度が遅い食事（低GI値食）の方が望ましいということになるが、低GI値食の方が常に優れているというわけではなく、高脂肪・低GI値食では腸管のグラム陰性菌が増加してしまうというデメリットがある。腸内細菌の状態が悪化した場合、これを改善するためにはヨーグルト、納豆等の発酵性食品の摂取が推奨される。

（学術委員・村田幸一朗 記）

第2回学術研修会

3DSを中心とした新しい予防歯科医療

鶴見大学歯学部探索歯学講座
花田信弘教授

■ なぜ3DSが必要なのか

3DS (Dental drug delivery system) は特に虫歯菌の多い人や歯周病のリスクの高い人に適しているとされ、定期的なメンテナンスとして行っている歯科診療所もあるが、口腔の病原細菌は、呼吸器や循環器を始めとした全身の臓器へ伝播し、慢性炎症を引き起こすので、必ずしもう蝕と歯周病だけを対象にしているのではない。

平成8年にスタートした厚生科学研究は口腔と全身の関係には、①栄養の経路 ②運動の経路 ③微生物の経路—が存在することを明らかにした。様々な疾病の共通危険因子 (Common Risk Factor: 図1) を制御するための細菌学的アプローチには、食事指導を中心としたPrebiotics (上部消化管で分解されず下部消化管で乳酸菌の増殖を促進させる物質: オリゴ糖等) とProbiotics (生体内の細菌叢に作用しそのバランスを改善する細菌: 乳酸菌等)、そして3DSによるAntibiotics (抗菌薬) があり、3DSは歯科医師・歯科衛生士による独占業務になる。

これまでの予防歯科はフッ化物の普及とTBI、フロッシングが中心であり、その評価項目 (エンドポイント) は虫歯と歯周病をなくしていくことだったが、日常的に歯を経由した菌血症が起きていることが明らかになった現在の「新しい予防歯科医療」では、そのエンドポイントは血管の健康に移り、菌血症の防止による健康長寿を目指すものとなる。

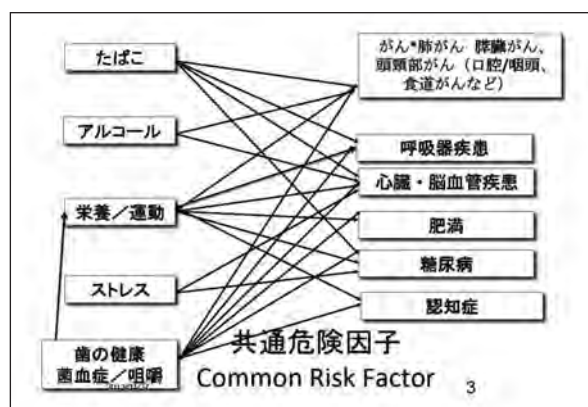


図1

■ 歯原性菌血症

歯原性菌血症 (Odontogenic bacteremia) は最悪の健康阻害因子の一つと言われている。これを理解した患者はプラークコントロールに対するモチベーションが高くなり、かかりつけ歯科医での継続的な検診に応じるようになる。ブラッシング指導は磨き方の技術だけを教えるのではなく、その必要性を理解してもらうことがより重要だ。歯から全身の循環器への細菌侵入路は、う蝕、歯肉炎、歯周炎がある。歯肉炎というと軽く見てしまいがちだが、歯原性菌血症の視点からすれば歯肉炎の段階で早急に治療すべきであると言える。私たちはまず、う蝕のない社会を目指したうえで (一次予防のさらなる推進)、歯肉炎と歯周炎を予防するためにかかりつけ歯科での定期検診 (一次予防と二次予防の組合せが不可欠) を定着させていかなければならない。

従来の歯科医療は患者の主観的要求 (ディマン

ド)に応じる治療歯科医療に偏りがちだったが、今後は科学的根拠に基づく医学的な必要性(ニーズ)に応える予防歯科医療にシフトしていくべきだろう。

■ 口腔内のバイオフィーム

口腔内のバイオフィームは、歯に関わる4種のバイオフィーム(①小窩裂溝 ②感染根管 ③根尖病巣 ④歯周病)及び舌苔のバイオフィームがある。

1986年にLoescheが小窩裂溝のバイオフィームについての論文を発表し、裂溝内のミュータンス菌除菌の可能性を示唆した。直近の鶴見大学の研究では、ミュータンス菌フリーの中・高校生の増加が確認されている(図2)。近年の小児う蝕の減少はミュータンス菌の感染自体の減少に起因していると考えられる。ミュータンス菌の母子感染は一瞬で起こるものではないので、砂糖の摂取制限(砂糖はミュータンス菌の感染力を上げてしまう)や仕上げ磨きにより菌の定着を防ぐことができる。第二大臼歯の萌出時期までミュータンス菌の感染を遅らせることができれば小窩裂溝から始まるう蝕は劇的に抑えられる。乳歯う蝕がありミュータンス菌の感染が明らかであればシーラントの実施を考える(逆に言えばミュータンス菌に感染していなければシーラントの必要はない)。

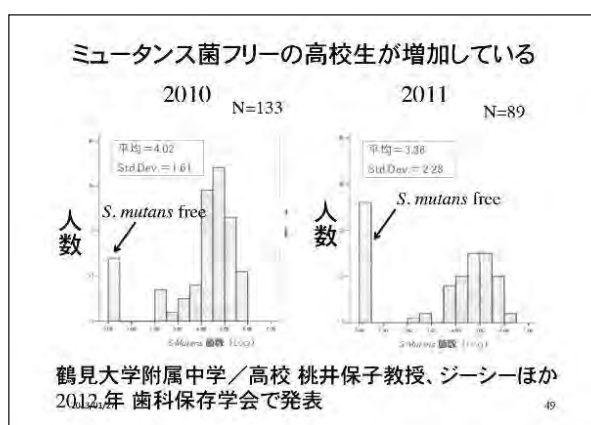


図2

グラム陰性菌の *P. gingivalis* は単独ではバイオフィームを作ることにはできず、グラム陽性菌(*S. gordonii*)と結合することにより歯肉縁下にバイオフィームを形成する。従って歯肉縁上のプラ

ークを完全に除去することにより、*P. gingivalis* のバイオフィーム形成も防ぐことができる。

■ リプレースメントセラピー

医科では無菌の状態で臓器を守るための手術等が行われ、菌が存在すればこれを抗菌薬で叩くという戦略が採られる。しかし、歯科ではう蝕や歯周病について無菌の状態を作るとは極めて困難であるため、菌との相利共生(Symbiosis)を考えなければならない。60兆個のヒト細胞と100兆個の共生細菌との「共生バランス失調」がDysbiosisであり、う蝕や歯周病もそうした状況下で発症するものである。Dysbiosisの状態をSymbiosisの状態に戻そうという考え方がリプレースメントセラピー(Replacement therapy:細菌置換療法)である。

現在の細菌学では細菌を7つの門(Pylum)に分類するが、この内、主なヒト常在菌がFirmicutes(グラム陽性細菌)とBacteroidetes(グラム陰性菌)である。Symbiosisの基本的な考え方は、内毒素を持つFirmicutesができるだけ少ない状態を作り出すことであり、そのために冒頭に述べた細菌学的アプローチが行われる。ただし内服薬による抗菌薬療法ではバイオフィームの薬剤抵抗性に阻まれてしまうため、口腔内細菌叢を置換するにはホームケア(歯磨き)とプロフェッショナルケア(PMTC+3DS)(図3)が必要になる。



図3

(学術委員・濱口陸太 記)

平成24年度 学校歯科保健研修会

平成25年2月10日（日）

三重県歯科医師会館

食育を支援する学校歯科保健活動

～食と咀嚼の健康教育を考える～

日本歯科大学生命歯学部衛生学・福田雅臣准教授



今年度の学校歯科保健研修会は、日本歯科大学・福田雅臣准教授を迎え、「食育を支援する学校歯科保健活動～食と咀嚼の健康教育を考える～」と題した講演が行われた。福田准教授は、文部科学省発刊の『「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり』の編集に携わり、食と咀嚼に関する健康教育を実践してきた。講演では、幼児から中学生までの全ての発達段階において「噛むこと」が筆頭課題として位置付けられ

ていること、食育推進の目標の一つに「よく噛んで味わって食べる」ことが新たに取り上げられたこと等について解説された。学校保健活動の大きな柱になっている“「生きる力」の育み”に関わる内容として、「食べること・噛むことの育成」は学校歯科保健活動の中核にあることが改めて示された。これからの学校歯科医には、う蝕、歯周病等の歯科口腔疾患への対応に加え、「食べること」「噛むこと」を指導することが求められている。しかし、この分野は従来の歯学部教育の中で必ずしも十分な時間が割かれてきたとは言えない。高齢者の摂食嚥下障害への対応も含め、私たち地域医療及び地域保健の現場に立つ歯科医師には、「食」に関するさらなる研修が必要であることを再確認した研修会だった。

我々歯科関係者はこれまでう蝕予防及び歯周病予防に取り組んできたが、その先にあるものは生涯にわたり歯・口の健康を維持することであり、美味しく食べられることである。学校においても自らが健康を守ること、適切な受療行動をとるこ

とができることを目標に学校教育に関わってきた。

学校での歯科保健教育の教科書と言える『「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり』では、「心身の発達段階等から見た子どもの歯・口の健康づくりの課題」が示されている（P.8参照）。

幼児期では「よく噛んで食べる習慣付け」が、小学校低学年と中学年では「好き嫌がなく、よく噛んで食べる習慣づくり」が、小学校高学年と中学生では「咀嚼と体の働きや健康とのかかわりの理解」がそれぞれ筆頭課題に挙げられている。また、幼児から小学校中学年までは2番目の課題としては間食を含めた食習慣が挙げられており、いずれももう蝕や歯周病予防よりも上位に記載されている。高校生では「生涯にわたる健康づくりにおける歯・口の健康の重要性の理解」「歯・口の健康づくりに必要な生活習慣の確立」の順になっており、健康を守るためのスキルを身につけさせることが重要視されている。

平成22年度に日本学校保健会が「食と咀嚼」に関する調査を実施した。学校歯科保健の充実を図ることを目的とし、児童生徒及びその保護者を対象に「噛む」ことや「咀嚼」に関連する意識及び実態等について調べたものだ。その結果、意識してよく噛んで食べようとする児童生徒は、噛むことが身体に良いという意識を持っており、季節の食材を楽しみ、食事への感謝の気持ちを持つ傾向が見られた。さらに、歯ごたえのあるものをよく食べると回答した児童生徒は、食べ物の味や匂いを楽しみ、食べていることに満足感を得ている傾向にあった。また、保護者が食事の挨拶をする児童生徒は、食事への感謝の気持ちを持ち、食事の手伝いをする傾向にあった。これらの結果から見えてきた課題として、▽「食と咀嚼」についての知識の獲得、意識の形成をどのように学校現場で培っていくのか▽日常生活の見直しや家族との関係をどのように結び付けていくのか―が挙げられた。また、生活習慣の乱れへの指導、歯科保健指導の最後の機会となる高校生への対応についても検討を要すると考えられた。

これらの結果を元に日本学校保健会が食と咀嚼に重点を置いた「学校歯科保健実践事例集」を平成23年度に作成し、各学校に配布した。この中には小学校での事例として、▽唾液▽味わう▽口腔機能▽脳と「噛むこと」の関連―等が記載されている。中学校では「自分で作る弁当の日」が、

高校では歯・口の健康づくりを通して自分の生活習慣や健康を考えさせる事例が、また、学級担任・養護教諭・学校歯科医による健康相談と保健指導の事例も紹介されている。

第2次食育推進基本計画では、コンセプトが「周知」から「実践」へと変更になり、▽生涯にわたるライフステージに応じた間断ない食育の推進▽生活習慣病の予防及び改善につながる食育の推進▽家庭における共食を通じた子どもへの食育の推進―が3つの重点課題として掲げられた。また、平成27年度までの達成を目指す新しい目標値の一つとして、「よく噛んで味わって食べる等の食べ方に関心のある国民の割合の増加」が新たに設定された。さらに、食育の総合的な推進に関する事項の中には「学校、保育所等における食育の推進」、「地域における食育の推進」の中には「歯科保健活動における食育推進」も盛り込まれている。これらの事項を見ると、食育が学校保健活動の大きな柱である「生きる力」の育成に直接的、間接的に関わってくる内容であると捉えることができる。

演者らは日本学校保健会の出張授業として、食と咀嚼の健康教育を実践している。その中では、▽五感（嗅覚、味覚、視覚、聴覚、触覚）を意識した食の支援▽咀嚼力判定ガムを利用して唾液の役割の話への展開▽混合ガムを用いて咀嚼の意義の解説―等を伝えている。

食育支援のための学校歯科医の関わり方には、▽ゲストティーチャー▽ティームティーチング▽学校行事▽給食指導▽学校保健委員会やPTA活動▽広報活動▽教材や資料の提供―等がある。「食べる・噛む」を通じた歯・口の健康づくりの学習、指導の主たる狙いは、問題解決能力の育成と自己の生き方の探究を通して「生きる力」を育むことである。食育支援のための保健学習や保健指導の時間が児童・生徒にとって魅力ある学習、価値ある学習になるように、学校歯科医の積極的な参加と支援が期待されている。

(理事・福森哲也 記)

学校歯科保健参考資料 『「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり』より抜粋
第2節 心身の発達段階等から見た子どもの歯・口の健康づくりの課題

幼児の課題

- (1) よく噛んで食べる習慣付け
- (2) 好き嫌いを作らない
- (3) 食事と間食の規則的な習慣付け
- (4) 乳歯の虫歯予防と管理
- (5) 歯・口の清掃の開始と習慣化
- (6) 歯・口の外傷を予防する環境づくり

小学校低学年の課題

- (1) 好き嫌いなく、よく噛んで食べる習慣づくり
- (2) 規則的な食事と間食の習慣付け
- (3) 第一大臼歯の虫歯予防と管理
- (4) 歯の萌出と身体の発育への気付き
- (5) 自分の歯・口を観察する習慣付け
- (6) 食後の歯・口の清掃の習慣化の自律
- (7) 休憩時間等での衝突・転倒等による歯・口の外傷の予防

同・中学年の課題

- (1) 好き嫌いなく、よく噛んで食べる習慣の確立
- (2) 規則的な食事と間食の習慣の確立
- (3) 上顎前歯や第一大臼歯の虫歯予防と管理
- (4) 歯肉炎の原因と予防方法の理解
- (5) 自分に合った歯・口の清掃の工夫
- (6) 歯の形と働きの理解（歯の交換期）
- (7) 休憩時間等での衝突・転倒等による歯・口の外傷の予防

同・高学年の課題

- (1) 咀嚼と体の働きや健康とのかかわりの理解
- (2) 虫歯の原因とその予防方法の理解と実践
- (3) 第二大臼歯の虫歯予防と管理
- (4) 歯周病の原因とその予防方法の理解と実践
- (5) 自律的な歯・口の健康的な生活習慣づくりの確立
- (6) スポーツや運動等での歯・口の外傷予防の大切さや方法の理解

中学生の課題

- (1) 咀嚼と体の働きや健康とのかかわりの理解
- (2) 歯周病の原因と生活習慣の改善方法の理解と実践
- (3) 第二大臼歯及び歯の隣接面の虫歯の予防方法の理解
- (4) 歯周病や口臭の原因と予防等に関する理解
- (5) 自分に合った歯・口の清掃方法の確立
- (6) 健康によい食事や間食の習慣、生活リズムの確立
- (7) 運動やスポーツでの外傷の予防の意義・方法の理解

高校生の課題

- (1) 生涯にわたる健康づくりにおける歯・口の健康の重要性の理解
- (2) 歯・口の健康づくりに必要な生活習慣（咀嚼、規則的な食事と歯・口の清掃等）の確立
- (3) 歯周病の予防の意義と方法の理解と実践
- (4) 自分の歯・口の健康課題への対応
- (5) 運動やスポーツでの歯・口の外傷の予防の意義や方法の理解と実践

平成24年度 学校歯科保健先進地視察研修

平成25年1月24日（木）
岐阜県・山県市立高富小学校



1月24日（木）、三重県と三重県歯科医師会の共催による平成24年度学校歯科保健先進地視察研修が実施された。本会会員の他、三重県内の市町歯科保健行政担当者や養護教諭、さらに市議会議員等、例年を上回る40名の参加があり、「みえ歯と口腔の健康づくり条例」公布・施行を受けてフッ化物洗口への関心が高まっていることが実感された。今回視察したのは岐阜県山県（やまがた）市高富小学校。山県市歯科医師会は会員数が10名の小規模な会だが、三重県でも過去に先進地として度々視察してきた瑞穂市

立穂積小学校を手本として児童生徒へのフッ化物洗口を実施してきた。お昼過ぎに現地に着いた一行は、高富小学校・高井かおる養護教諭から同校での歯科保健活動の取組みについて詳しい紹介を受けた後、児童たちが歯磨きやフッ化物洗口を行う様子を見学。準備から後片付けまで一連の流れが確立していることがよく分かり、高学年の児童が低学年の児童に歯磨きを指導している姿も印象的だった。見学後には、山県市歯科医師会・尾野康夫副会長から山県市の歯科保健活動についての詳しい報告を受け、締め括りには朝日大学歯学部口腔感染医療学講座社会口腔保健学分野・磯崎篤則教授による「これからの学校歯科保健」を聴講。充実した研修となった。

高富小学校の歯科保健活動について

高富小学校・高井かおる養護教諭

高富小学校は山県市の最南部の自然豊かな環境にあり、現在の全校児童数は409名である。本校では学校の教育目標を「仲間と共に、納得がいくまでやりぬく子」と定め、健康教育においても「自ら考え、健康で安全な生活ができる子」を目標として、心身ともに健康で明るい子どもづくりを目指している。「歯・口の健康づくり」に関する

指導も学校の年間計画に位置付けられており、学年ごとの計画では、それぞれの年齢に応じたブラッシングの到達目標を設定している。「フッ化物洗口」は平成16年から実施しているが、16年度の全校児童の虫歯の数（処置歯＋未処置歯）が158本だったのに対し、24年度では14本と10分の1以下となっている。これはフッ化物そのものの効果

だけでなく、フッ化物洗口開始に伴って実施してきた様々な歯・口の健康づくりへの教育の成果もあると考えている。

本校の特色の一つに、全校生徒が揃って給食を食べることができるランチルームがあるが、洗口場が離れているために担任が歯磨きを見届けにくいという問題があった。現在は給食後に教室で席について3分間の歯磨きを徹底するようにしている。洗口液は養護教諭が保健室で調剤し、担任や保健委員の児童が各教室で個々のカップに分注する。洗口はタイマーで時間を測って1分間行うが、この地域では保育園や幼稚園でもフッ化物洗口を実施しているので1年生でも入学時から上手に洗口できる。

食育にも積極的に取り組んでおり、毎月8のつく日（またはその前後）を「いい歯の日」、19日は「食育の日」と名付け、「いい歯の日」には咬みごたえのある食材や歯の健康に良い食材を取り入れランチルームで紹介している。また毎月配布する献立表の裏面を利用した「献立だより」には子どもたちや保護者に知って欲しいことやレシピを掲載している。

学年ごとの「歯・口の健康に関する保健指導」では、①1年生は第一大臼歯 ②2年生は前歯の外側 ③3年生は前歯の内側一、とターゲットを

絞った歯磨きの練習を行い、4年生では学校歯科医による歯磨き教室を実施しており、これは10年以上続いている本校の恒例行事となっている。18年度からは市の健康介護課と連携したブラッシング指導事業がスタート。児童10人当たり一人の歯科衛生士という恵まれた環境でさらにきめ細かい指導が受けられるようになり、22年度からは日本学校歯科医会が主催するインターネットを活用した「学童歯みがき大会」にも参加している。5年生になると自分で歯肉炎を見つけ改善する力を身につけることを目標とした歯肉炎に対する指導に力を入れ、6年生ではRDテストを実施するとともに、今まで学習した学年ごとの歯磨きの基本を振り返りながら、自分の歯列や歯の形に合わせて「全ての歯をきれいに磨く」ことを目指す。今年度からはデンタルフロスの指導も始めている。こうした習慣がしっかりと児童の身につくようにするには家庭との連携も重要になる。児童ごとに作成している「歯と口腔の健康づくりノート」等を活用して、児童が学んだことを保護者も共有するように努めている他、毎年行っている給食の試食会に併せ保護者向けの成人歯磨き教室も実施。歯の衛生週間や夏休みを利用して、親子揃って歯磨きをはじめとした生活習慣づくりに取り組めるように工夫を重ねている。

山県市のフッ化物洗口事業

山県市歯科医師会・尾野康夫副会長

岐阜市の北部に位置する山県市は、人口3万人余りで、平成16年から市の事業としてフッ化物洗口を始め、現在は人口の約1割に当たる子どもたちがフッ化物洗口を行っている。

山県市の行政と教育委員会、歯科医師会で構成される「山県口腔保健協議会」では、毎年のように農山村地域でのう蝕の多さが話題に上っていた。そこで平成15年、厚生労働省から「フッ化物洗口ガイドライン」が発出されたことを契機に歯科医師会からフッ化物洗口事業を提案した。それまで

協議会で培われていた連携と朝日大学歯学部とのバックアップ、さらに当時のトップのリーダーシップ等がありこの事業がスタートすることになった。事業は市の「子ども家庭課」が事業主となり、歯科医師会、薬剤師会、学校等の各グループはその指示に従って協力、行動する形をとっている（図1）。こうした事業形態をとることにより、全ての学校で同じようにフッ化物洗口が実施され、子どもたちが平等にその恩恵を受けることになる。

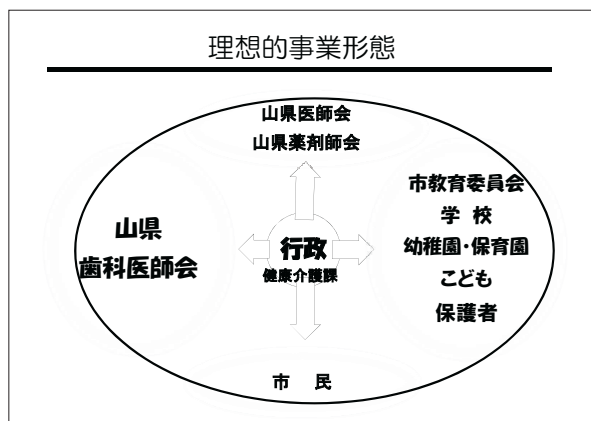


図 1

対象施設は保育園、幼稚園から中学校までで、25施設でスタート。現在は統合により22施設となっているが当初より実施率は99%以上で推移、その対象者は約3,200名になっている。

毎年4月には保護者に対して、フッ化物洗口実施の希望の有無を尋ねる「希望調査書」を提出してもらっている(提出先は市長)が、強制して行うものではないので同意書・承諾書といった形式は避けている。事業初年度の希望調査書に対してはたくさんの質問が寄せられ、歯科医師会がそれに回答する形の問答集を発行した。また、事業開始前から、信頼できるデータを蓄積するために健診基準を統一するため歯科医師会の研修を実施。その後もCOの取扱い等の統一を図るため養護教諭も交えた研修会を継続して実施している。

事業費用については、初年度こそ器具の購入等の必要もあり一人当たり年間650円を要したが、軌道に乗った現在では年間150円となっている。市の理解により受益者負担がないことも実施率の高さにつながっていると思われる。

23年に7年間のフッ化物洗口事業の効果を検証するための調査を実施したところ、▽山県市12歳児のDMFT指数を13分の1に減少させる高いう蝕抑制効果▽市内各学校間のう蝕罹患状況の格差の解消▽ハイリスク者の罹患の改善=個人間の健康格差の解消一等の結果が得られた。山県市のほとんどの子どもたちは市内の保育園や幼稚園、小・中学校へ通い、永久歯の萌出時期にフッ化物洗口のう蝕抑制効果を受けていると思われる。学

校での集団応用により継続的に実施できていることも大きなポイントだろう。保健指導によって生活習慣を改善することが難しいハイリスク者のう蝕を抑制することができたこともフッ化物洗口の特徴の一つだと思われる。

山県市歯科医師会は、フッ化物洗口事業を提案した時に、この事業の目的を「洗口によってう蝕を減らすことだけではなく、それを一つの題材として子どもたちへの健康教育を行うこと」であると説いた(図2)。これが関係者からの理解を得られた理由だと認識している。だからこそ事業を進めるに当たっては、常にフッ化物についての研修と健康教育についての研修をセットで行ってきた。

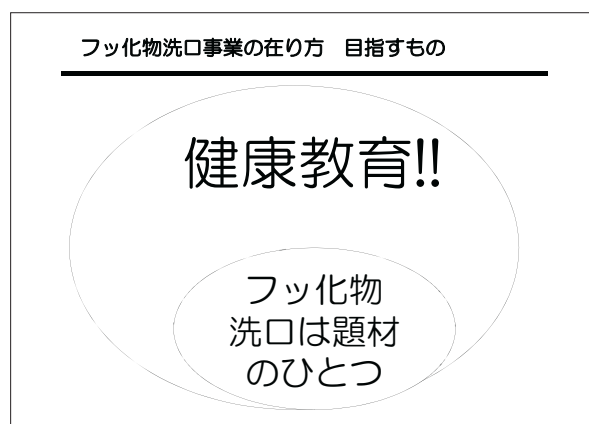


図 2

フッ化物洗口事業の今後の課題は、現在の児童及びその子どもたちがまた同じようにフッ化物洗口を受けられるよう、事業を継続させることだと考えている。教職員や行政の担当者、歯科医師会員等も世代交代していく中で、意識の変容や低下が起きるかもしれない。それを防ぐためには研修会の継続的な開催や、保護者や子どもたちへの健康教育を重ねていくこと、さらにデータの公開を行い、関係者や市民の意識維持、高揚を図る必要があるだろう。23年には全国で7番目となる市の条例(山県市民の歯と口腔の健康づくり条例)が制定され、フッ化物洗口を市の施策とすることが明記された。これを支えに、今後も関係者と連携を取りながら子どもたちの生涯にわたる歯と口腔の健康づくりを支援していきたい。

(理事・熊谷 渉 記)

全国7地区日本歯科医師会 平成24年度災害コーディネーター研修会

平成25年2月3日（日） 静岡県歯科医師会館



2月3日(日)、静岡県歯科医師会館で日歯・平成24年度災害コーディネーター（身元確認・災害歯科保健医療）研修会が開催され、三重県歯の災害時の対応・体制委員会のメンバーと郡市会の災害コーディネーター担当者が参加した。この研修会は、大規模災害時における歯科医師会行動計画や出動計画の見直し、デンタルチャートを含めた身元確認ワークフローの統一等の警察歯科分野の課題、避難所における口腔ケア等の災害時歯科

保健医療の課題について、総合的な研修を行うことにより、災害時に適確かつ迅速な対応ができる人材の養成を目指して企画されたもので、この日の研修会には東海信越ブロックの担当者が参加した。三重県歯科医師会からの参加者は以下のとおり。

永田卓也(桑員)、今村芳義(四日市)、小林晋嘉(鈴鹿)、岡 知道(亀山)、林 幹也(津)、津田 真(松阪地区)、福田幸弘(伊勢地区)、川面浩一(志摩)、多湖 準(尾鷲)、和手紀明(南紀)、大竹秀人(伊賀)
芝田憲治、辻 哲、羽根司人、熊谷 渉、桑名良尚（県歯：災害時の対応・体制に関する委員会）
陣田清士（三重県警察医会）

日本歯科医師会主催による災害コーディネーター研修は平成22年度から開催されているが、今年度から東日本大震災の経験を踏まえ、今後発生が予想される首都圏直下型地震、東海・東南海・南海三連動の大規模地震等に備える形で全国7地区において研修会が開催されることとなった。研修科目も、▽歯科医師会の行動計画▽災害時の歯科保健医療、身元確認活動▽各歯科医師会間の連携一等の総合的な内容に改められ、より実践的なものとなっている。

混乱を極める災害現場において最も必要とされるのは、様々な分野を調整するコーディネーターである。日歯の災害コーディネーター研修の目的は、歯科医師会の災害対策本部及び被災地において、行政の対策本部をはじめとした関係各機関・各団体との連携の窓口になるとともに、都道府県歯科医師会及び郡市区歯科医師会がその社会的責務を果たすために実施する活動の中心となる人材を全国で養成することであり、その人材が都道府県行政で設置が進んでいる「災害医療コーディネーター」に加え、新たに「災害歯科コーディネーター」として位置付けられることを目指している。今回の研修ではそのための第一段階として、災害時対策全般及び地域で必要とされる災害コーディネーター機能についての研修が実施された。

大規模災害時の歯科医師会行動計画について

日本歯科医師会・柳川忠廣常務理事

24年8月に内閣府が改めて南海トラフ地震の被害想定を公表した。冬の深夜という最悪時の想定ではあるが、静岡県内で死者109,000人（三重県内死者43,000人）と東海地方の沿岸部で大きな被害が想定されている。歯科医師会の行動計画を立案するうえで被災地への出動を考えた場合、隣県や県内他地区との連絡調整が必須となる（図1）。それを担うのが災害コーディネーターである。被災地に歯科医師会と行政双方にコーディネーターがおり、両者の連絡調整の下、医療支援者の出動がなされるのが望ましい。

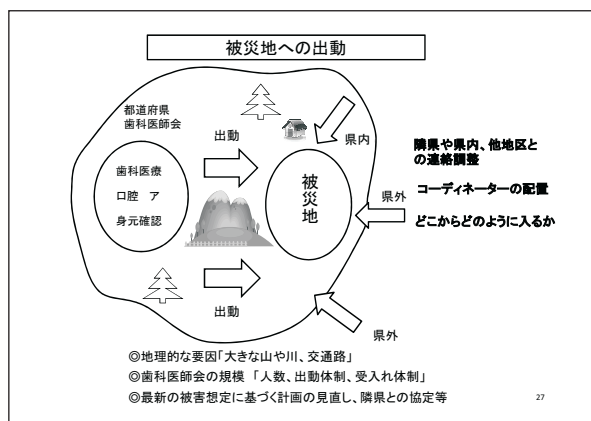


図1

歯科医療に関わる災害コーディネーターには、
①緊急性の高い歯科医療のための派遣 ②中長期

の歯科保健医療のための派遣 ③身元確認のための派遣—それぞれについて、どの地域からどの地域へどのような移動手段で何名派遣するべきかを判断することが求められる。

発災後、初期段階では行政の保健師や歯科医師等が早期に避難所等を訪れ、初期対応とともに、状況を把握する一方で、歯科医師会員の出動情報を歯科医師会と行政側が共有する。その後、各地からの情報を元に効率的な出動の調整が行われる。避難所の情報（位置・数・環境等）は行政内対策本部に集約されるため、行政内歯科医師や保健所所属歯科衛生士が関わることが望ましいが、行政に歯科医師や歯科衛生士がいないか、もしくは対応困難な場合、早期に行政対策本部へ歯科医師会のコーディネーターを派遣して歯科保健医療の需要を把握し、出動等についての調整を図る必要がある。次いで出動報告を元にして避難所ごとに出動チームの調整をし、資器材を確保する。行政と歯科医師会のコーディネーターは毎日連絡調整を行って情報共有を図り、出動計画を継続して検討する。また、歯科に関わる情報は歯科医師会に集約し大学関係を含めた外部からの支援者との調整を図る。

災害時の歯科保健医療の提供体制について

東京医科歯科大学大学院顎顔面外科学・中久木康一助教

災害時における歯科保健医療支援には、応急歯科診療と巡回口腔ケア・口腔衛生指導等の歯科保健活動とがある。阪神・淡路大震災時は、義歯関連（義歯紛失等）が多く、義歯新製の需要が高かったが、新潟県中越地震においては義歯新製の需要は少なく、発災時間・規模・地域により需要は変化

することが分かる。

阪神・淡路大震災では、兵庫県の死者6,402人中、震災関連死と認められたのは919人、新潟県中越地震では死者68人中、52人が関連死と認められた。災害関連疾病とは災害のもたらす様々なストレスや環境因子から引き起こされる疾病で、

これらの死亡率（災害関連死）は災害の直接被害を凌駕する可能性がある。長期化する避難生活においては災害関連疾病の予防が重要であり、口腔

ケアが肺炎対策・感染症対策の一つとしての位置付けがなされる方向性にある。

（※）中久木康一助教には、23年12月の三重県歯科医師会医療管理講習会『災害救護における歯科の役割』で「災害時の歯科保健医療支援活動」と題してご講演いただいている（詳細は『三歯会報』24年2・3月号の記事を参照されたい）。今回の研修会では、DMAT（災害派遣医療チーム）、JMAT（日本医師会災害チーム）のような歯科チーム（日本歯科医師会災害チーム）の必要性について、医科の体制（大学病院や勤務医が中心のチーム）と歯科の体制（歯科医師会等、開業医からなるチーム）の違いについて問題提示し、これからの歯科における体制づくりや災害時歯科医療教育を踏まえた私見も述べられた。歯科医師会会員による災害チームでは自院を休診してボランティアとして参加することになる。可能であれば大学病院や歯科医師が複数いる病院歯科から派遣できるシステムが構築されることが望まれる。

身元確認作業の実施について

日本歯科大学・都築民幸教授

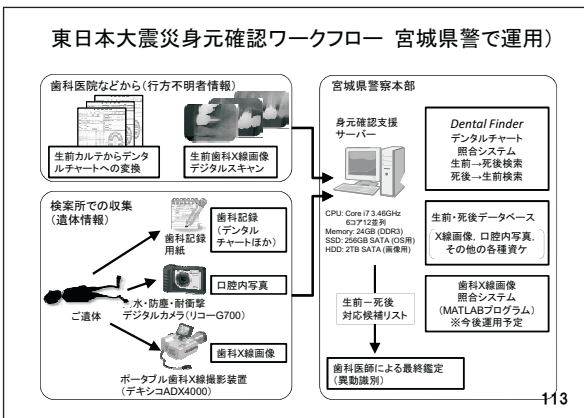


図 2

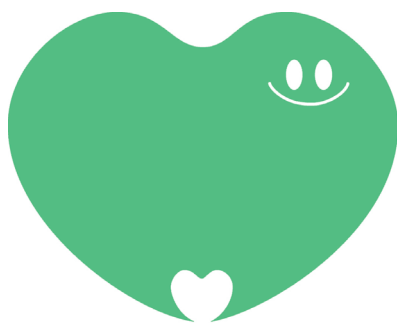
東日本大震災時の身元確認作業で浮き彫りになった課題は、▽歯科的個人識別のワークフローの統一▽平時歯科所見（生前情報）の収集及びデータベース化の推進一である。東日本大震災時に宮城県警で運用された身元確認フローを図2に示す。

災害時の混乱の中でもこのような活動が滞ることなく行われるためには、都道府県歯科医師会と都道府県警察本部（捜査第一課、鑑別課）が、平時から歯科的個人識別への協力や身元確認合同訓練の実施により連携を構築していることが重要になってくる。

最後に今回の研修会の開催県である静岡県歯科医師会・榎木巖也理事から、静岡県歯科医師会独自に作成している会員安否システムについて紹介された。地理情報システム（GIS：Geographic Information System）を利用した避難所や歯科医院の稼働状況を確認できるシステムは興味深いものだった。

全国で災害歯科コーディネーターとしての能力を備えた人材を養成することは大切なことだが、当然のことながら災害コーディネーターだけで災害時の活動ができるわけではない。私たち歯科医師会の会員一人ひとりが日々、災害時に備えて訓練を重ねておく必要がある。三重県歯科医師会では県歯及び郡市会の歯科活動マニュアルを刷新するとともに歯科診療所を対象とした「災害時の業務継続ガイドブック」を配布する予定である。診療所でスタッフも含めてこうした情報を共有し、いざという時に役立てていただきたい。

（理事・桑名良尚 記）



みえ歯ートネット通信

<http://www.dental-mie.or.jp/heartnet/>

平成24年度障害者歯科センター推進連絡協議会開催



本協議会は障害者歯科センターでの歯科医療が円滑に推進されるよう、関係者の相互理解を図るとともに、障害者の歯科保健意識の向上を目的として毎年開催されている。

今年度は三重県健康福祉部医療対策局健康づくり課から山本 学、芝田登美子の両主幹、同・医療企画課から米倉 卓主幹、同・障がい福祉課から内田 立副課長、三重大学医学部附属病院歯科口腔外科から乾 眞登可准教授と清水香澄助教、三

重県歯から齋藤 弘センター長が出席した。

会合では、まず平成24年度の診療実績（患者数、診療報酬・患者の地域別分布等）、ヒヤリ・ハット報告（治療中の患者の不随意運動による術者の針刺し事故）、参加学会及び研修会（日本障害者歯科学会・札幌）、みえ歯ートネット関連事項等について報告された。次いで協議事項として今後の事業方針について説明され、これらに関して出席者から以下のような質問、要望が示された。

乾准教授からは、今回報告された針刺し事故に関連した患者の血液検査に係る費用負担についての質問と、現在三重大学医学部附属病院に限られている第3次医療機関について、今後は他の病院にも依頼すべきではないかとの指摘があった。また、芝田主幹からは「みえ歯ートネット」の登録メンバーの資質向上に関連した質問が出された。これらについては今後の課題として協議していく予定だ。

障害者歯科センター診療状況

2月

診療日	7日
診療担当者	常勤1名、非常勤3名 内訳・会員1名、大学2名
延患者数	130名

3月

診療日	7日
診療担当者	常勤1名、非常勤4名 内訳・会員2名、大学2名
延患者数	149名

平成24年度

February

第11回理事会

平成25年2月5日(火)

三重県歯科医師会館

平成25年度事業計画等について協議



2月5日(火)、第11回理事会が開かれた。峰会長は中央情勢報告の中で29日に閣議決定された平成25年度予算及び税制改正大綱について触れ、特に「がん対策予算」については、三重県で検討が進んでいる「がん対策推進条例」と併せ、三重県歯としてがん患者を対象とした歯科医療連携への取組みを本格化させる必要性を指摘した。芝田専務理事からは県歯の災害対応体制委員会及び2月3日(日)に静岡で行われた日歯災害コーディネーター研修会について詳しく報告された。協議では第6回郡市会長会議に向けて平成25年度事業計画について話し合われた。

会長報告



峰会長はまず、1月29日(火)に発表された平成25年度歯科保健医療対策関係予算案の概要について報告。歯科保健医療の充実と強化に対して1億2,700万円が計上されている他、新規事業として、

歯科診療所が保有する歯科診療情報を身元確認に活用するための検討及び実証のためのモデル事業に2,100万円が充てられている。また平成25年度がん対策予算では、がん患者の口腔ケアに関連した医科歯科連携事業に1,000万円が準備され日歯が委託を受けることも決まっている。

同じく1月29日(火)に閣議決定された「平成25年度税制改正大綱」では、社会保険診療報酬の所得計算の特例(いわゆる四段階制)については、社会保険診療報酬が5,000万円以下で、自由診療を含めた収入が7,000万円以上の者を適用除外とする「条件付き」で存続とされた。

委員会事業報告

【社会保障委員会】

- ・ 社保委員会 (2/2)、審査支払機関の判断基準の統一化に係る連絡協議会の設置について

【医療管理委員会】

- ・ 津歯科医師会医療管理・社会保障講習会 (1/24)、平成24年分所得税青色申告決算書の調査 (日歯) について

【学術委員会】

- ・ 県民公開講座・第2回学術研修会、第3回学術委員会 (1/27) について



【公衆衛生委員会】

- ・ 平成24年度多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業地域リーダー養成研修会 (1/20)、平成24年度都道府県歯科医師会地域保健・産業保健・介護保険担当理事連絡協議会 (1/23)、桑員歯科医師会学校歯科医研修会、学校歯科保健先進地視察研修、平成24年度第3回三重県医療審議会健やか親子推進部会 (1/24)、平成24年度第3回三重県在宅医療推進懇話会 (1/31)、第3回三重県公衆衛生審議会地域・職域連携部会 (2/1)、児童相談所一時保護所

入所者に対する歯科健診・歯科保健指導、「学校健診における探針の使用及びCOの事後措置」の会員周知、「学校歯科保健活動に関する調査結果 (記述欄)」の会員周知、入院患者を対象とした口腔ケアに関する調査、要介護者を対象とした口腔ケアに関する調査について

【広報編集委員会】

- ・ FM三重ラジオ番組企画、平成25年度『歯チカラ』、会員名簿の更新、日歯広報コラム『都道府県通信』、三重テレビ報道特別番組『田村憲久厚生労働大臣に聞く』CMについて

【企画調査委員会】

- ・ Sunshine Net掲載記事、平成25年度最新歯科医療実態調査について



【災害時の対応・体制に関する委員会】

- ・ 災害時の対応・体制に関する委員会郡市歯科医師会担当者会議 (1/27) (大規模災害時歯科活動マニュアル(案)、歯科診療所災害時の業務継続ガイドブック(案))、平成24年度全国7ブロック災害コーディネーター研修会 (2/3)、災害時の指定地方公共機関への指定について

協議事項

1. 郡市会長会議の招集並びに附議事項について
2. 県歯会機構改革について
 - (1) 互助会制度について
 - (2) 終身会員の殊遇について
 - (3) 会費の賦課方法について
3. 平成25年度事業計画について
4. 第172回日歯代議員会個人質問事項について
5. 会務並びに事業の運営について
 - ・ 医科歯科連携について
 - ・ 三重県警察医の嘱託並びに運用について

平成24年度

February

第6回郡市会長会議

平成25年2月21日(木)

三重県歯科医師会館

がん患者歯科医療連携講習、5月にスタート



2月21日(木)、第6回郡市会長会議が開かれた。会合では平成25年度事業計画について協議。執行部から示された25年度の事業計画案では、基本方針として24年3月に公布・施行された「みえ歯と口腔の健康づくり条例」を踏まえ、公益社団法人として果たすべき役割を担う姿勢が強調された。芝田専務理事は事業計画の説明の中で、がん患者歯科医療連携事業について、その第一歩となる「連携講習1」を5月26日(日)に実施することを明らかにした。

会長報告



平成25年度歯科保健医療対策関係予算(案)・がん対策予算及び健康増進対策予算(案)の概要について

1月29日(火)に、厚生労働省医政局歯科保健課から平成25年度歯科保健医療対策関係予算案等が発表された。新規事業として口腔保健支援センターの体制確保や各種事業の実施を目的とした口腔保健推進費として9,226万7千円が確保された。同じく歯科診療情報の標準化に関する

実証のための新規事業も2,103万5千円が計上されている。また、がん対策予算案では新たに医科歯科連携事業として「歯科医師に対し、がん患者の口腔ケアに関する研修会等を行うことで、がん患者に対する歯科医療の質の向上や均てん化を図る」ことが掲げられている。この事業には1,000万円が充てられており、日歯が委託を受ける。

平成25年度税制改正大綱について

同じく1月29日(火)に、平成25年度税制改正の大綱が閣議決定された。社会保険診療報酬に係る所得計算の特例措置(いわゆる四段階制)については、「医業・歯科医業に関する年収が7,000万円を超える者を適用から除外する」とされた。事業税非課税の特例措置は存続。

日歯会長予備選挙について

2月8日(金)に任期満了に伴う日歯の次期会長予備選挙の投票が締め切れ、開票の結果、

現職の大久保満男氏が609票（有効投票数620票）を獲得して当選した。

第172回日歯代議員会について

3月14日(木)・15日(金)の両日に開催される。

一般会務報告

(芝田専務理事)



会員数

平成24年4月1日～25年2月18日の期間で入会14名、退会9名。現会員数863名。

警察医の委嘱について

東海信越地区からは静岡県選出の山下敏明日歯代議員が地区質問に立つ予定。なお、日歯は4月1日(月)より公益社団法人に移行する見込み。

県歯役員、郡市長及び推薦会員からなる警察医については、25年3月末までとなっている就任期間を同6月末まで延長する。7月1日以降、県歯及び郡市会が新執行部に移行した後に新たに委嘱を行う予定。

三重県歯科医師協同組合総代の改選時期について

協同組合については、本会等と異なり中小企業法の規定により現役員任期の3か月延長が認められない。そのため法的には25年4月より新役員及び新総代を選出することになる。やむを得ないので、当面は現役員及び現総代を4月1日からの役員及び総代に選出したとみなし、6月30日付で辞任することとする。7月1日以降の役員及び総代については改めて選出する。

委員会事業報告

【学術】(林理事)

平成24年度地区学術研修会に関する助成金交付について

4つの郡市会の実績報告書及びレポートが未提出。期限内に提出するよう要請。



6歳臼歯保護育成カードについて

三重県内の小学校新入学児童に6歳臼歯保護育成カードが配布される（以前配布していた「歯のパスポート」に代わるもの）。

学校歯科健診等における留意事項について

学校での歯・口腔の健康診断における探針使用時の留意事項についてまとめた資料を会員に配布する。郡市会でも周知徹底して欲しい。

学校歯科保健活動に関するアンケートの結果について

24年に実施した学校歯科保健活動に関するアンケートの結果を取りまとめたので、参考にされたい。

フッ化物洗口モデル事業について

フッ化物洗口モデル事業の継続及び中止、ミラノール提供終了施設等の一覧を示す。ミラノール提供が終了した施設に対しては“フッ化物洗口の継続実地状況に関するアンケート”を実施する予定。

【社会保障】(大杉常務理事)

保険医療機関の指定更新時の集団指導について

3月7日(木)に実施予定。対象者は出席され

たい。なお、高点数個別指導とは異なるものなので、その旨も認識いただきたい。

医療機関の設備投資に関する調査について

26年4月及び27年10月に消費増税が予定されていることから、中医協・医療機関等における消費税負担に関する分科会で、▽医療機関の消費税負担実態の検証▽税率引上げの際の負担軽減策のあり方が検討されてきたが、今般、医療機関等における高額投資に係る消費税負担の状況を把握するための調査が行われることとなった。県内では約20医療機関が対象となる。ご協力をお願いします。

【医療管理】(辻(哲)常務理事)



平成24年分所得税青色申告決算書の調査について

日歯青色申告会連合会(青申連)では、毎年所得税青色決算書による経営内容調査を実施してきた。従来調査票は都道府県歯を通じて配布されていたが、今年度から無作為抽出した会員30%に直接送付される形になった(2月中旬『日歯広報』と同封)。ご協力をお願いします。

漢方製剤について(クラシエ「半夏瀉心湯」)

クラシエ(株)より漢方製剤「半夏瀉心湯(はんげしゃしんとう)」エキス細粒及びエキス錠が発売された。歯科・口腔領域では口内炎が適応となっている。

歯科技工士法施行規則の一部改正等について

25年4月1日から歯科技工士法施行規則の一部を改正する省令が施行される。改正内容は歯科技工指示書の記載事項と歯科技工所の構造設備基準の見直し。歯科技工指示書については、

①患者氏名の記載 ②歯科医師の勤務する病院又は診療所の所在地 ③歯科技工所の所在地一を記載することが定められる。記載要件を満たしていれば既製の歯科技工指示書を使用しても差し支えないが、三重県歯が三重県技と協議して作成している歯科技工指示書も改正に合わせて更新するので活用されたい。

また、歯科技工の委託契約の際には、「歯科技工所の開設届け出に関する証明書」等で、歯科技工所の開設届け出が行われている旨を確認することが望ましい(医療監視等に際しても上記証明書を準備しておくことよ)。

平成24年度第2回医療管理講習会(バイタルサインセミナー)について

3月10日(日)に第2回医療管理学会として日本歯科麻酔学会との共催によるバイタルサインセミナーを開催する。講師は東京医科歯科大学大学院麻酔・生体管理学講座・深山治久教授。

平成25年度歯科助手講習会について

4月14日(日)を皮切りに例年通り4日間の日程で開催する(詳細は『三歯会報』2・3月号P.32参照)。

【広報編集】(太田常務理事)



F M放送を使った平成25年度ラジオ番組企画について

25年4月～6月の3か月間、FM三重『はぴはぴ子育て』(毎週金曜日10:00～放送)の中で「良く噛むことからはじまる健康づくり」(仮)と題したコーナーを提供する予定。25年度の郡市会の「歯と口の健康週間」事業等の広報にも活用したい。

国民に向けた多角的な広報の展開について（日歯）

日歯では24年度中に、国民に向けた多角的な広報の展開として以下のような事業を実施する。
▽BS朝日『「生きる」の入り口』（3月土曜日

5週連続放送・5回シリーズ▽週刊誌（『週刊文春』『週刊新潮』）への対談掲載（交互に6週連続）▽やなせたかし著『は、は、は、歯のおはなし 歯科詩集』の刊行一等。

協議事項

平成25年度事業計画について

第2回臨時代議員会に上程予定の平成25年度実施事業計画(案)が示された。まず、峰会長が基本方針について説明。24年3月に公布・施行された「みえ歯と口腔の健康づくり条例」を踏まえ、公益社団法人として果たすべき役割を担う姿勢を強調しつつ、がん・糖尿病等に対応するため、医科をはじめとした多職種との連携推進についても明記した内容となっている。

各事業の詳細については担当常務理事が説明したが、新たな取組みとなるがん患者歯科医療

連携事業については複数の委員会を横断する事業となるため、芝田専務理事から補足説明があった。がん患者歯科医療連携事業については、日歯と国立がん研究センター（国がん）の連携事業の全国展開と協調しつつ、三重県行政及び県内のがんセンターや拠点病院とも連携した事業として実施される予定。当面、日歯・国がん連携事業の「連携講習1」を5月26日(日)に、「連携講習2」を6月16日(日)に開催することが決定している。

（広報編集委員・赤塚貴則 記）

三重県歯科医師会無料職業紹介所について

三重県歯科医師会では厚生労働大臣の許可を受けて、歯科医療技術者（歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士・歯科助手）を対象とした無料職業紹介事業を行っています。職業紹介を希望される場合、求職は働く意欲がある方なら常勤、パートを問いません。申し込みにより希望と能力に応ずる職業に速やかに就くことができるよう極力お世話をいたします。

●求職者の場合

- ・ 所定の求職票に必要事項を記入し、下記の無料職業紹介所に提出する。
- ・ 来館または電話にて、求人者の閲覧をする。
- ・ 条件が合えば面接を行う。

●求人者の場合

- ・ 所定の求人申込書に必要事項を記入し、下記の無料職業紹介所に提出する。
- ・ 来館または電話にて、条件の合った求職者を探す。
- ・ 合否結果については、当紹介所に結果報告する。



※ 下記へ連絡いただければ関係書類を送付します。

公益社団法人 三重県歯科医師会
歯科医療技術者等無料職業紹介所
〒514-0003 津市桜橋2丁目120-2
TEL 059-227-6480

詳しくはWEBで！

[検索](#) [三重県歯科医師会無料職業紹介所](#)

平成24年度

March

第12回理事会

平成25年3月5日（火）

三重県歯科医師会館

互助会規程改正案、臨時代議員会上程へ



3月5日(火)、第12回理事会が開かれ、2月21日(木)の第4回機構改革特別委員会でまとめられた報告書を受けて、長きにわたる懸案であった互助会規程の改正案を20日(水・祝)に開かれる第2回臨時代議員会に上程することが決定された。改正案は▽第1部療養給付の見直し▽同・加入期間の見直しと長寿祝金の新設▽第2部・第3部の統合一等が柱となっている。臨時代議員会にはこの他、25年度事業計画及び予算に関する議案等が上程される。また、社保委員会からは「診療報酬に係る復興特別所得税の源泉徴収」や「平成24年度歯科疾患の検査・診断等に関する歯科診療報酬の適正な評価の調査」について、学術委員会からは1月の日歯・日体協合意に基づく平成25年度スポーツデンティスト養成講習会について、それぞれ報告があった。公衆衛生委員会は三重県が鈴木知事の意向を受けて子どもを守る対策を強化する方針を明らかにしているため、これに呼応した児童虐待防止対策を展開する方針を示した。広報編集委員会は25年4月からFM三重の子育て世代を対象とした番組『はぴはぴ子育て』の中で、歯科に関する健康情報を紹介するコーナーをスタートさせることを報告した。

委員会事業報告

【社会保障委員会】

- 伊勢地区歯科医師会社保講習会(3/3)、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う国による避難指示等の対象地域における被保険者等の一部負担金の免除措置に対する財政支援の延長等、復興特別所得税の源泉徴収、歯科疾患の検査・

診断等に関する歯科診療報酬の適正な評価の調査について

【医療管理委員会】

- 医療安全研修会(2/24)、三重県救急医療情報センター理事会(3/5)、歯科相談(7件)、県下歯科衛生士養成校の平成25年度出願者等

状況(2/25現在)、歯科衛生士研修会受講料、
歯科衛生士就労状況調査アンケートについて

【学術委員会】

- ・ 学術情報提供「シェードテイキングの要点」
について

【福祉厚生委員会】

- ・ 日歯共済立替払い・前払い適用者への既実行
累積額(貸付残高)通知の実施について

【公衆衛生委員会】

- ・ 第5回成人歯科保健・産業歯科保健に関する
打合せ会(2/6)、平成24年度第2回鈴鹿地区地
域8020運動推進協議会、平成24年度第2回松阪
地区地域8020運動推進協議会(2/7)、平成24年
度学校歯科保健研修会(2/10)、日本学校歯科
医会加盟団体長会議、「学校歯科医生涯研修制
度並びに専門研修」説明会(2/13)、平成24年
度第1回伊賀地区地域8020運動推進協議会、平
成24年度第2回南勢志摩地区地域8020運動推進
協議会(2/14)、子育て応援!わくわくフェス
タ(2/16・17)、災害対応における高齢者への
食支援及び口腔ケア研修会(2/21)、三重県要
保護児童対策協議会代表者会議(2/25)、生活
歯援プログラムの実践に向けた研修会(3/2)、
児童相談所一時保護所入所者に対する歯科健診
・歯科保健指導、「生活歯援プログラム活用事
業実施の手引き」、平成25年度歯・口の健康に

関する図画・ポスターコンクールについて



【広報編集委員会】

- ・ 『歯チカラ5』打合せ(2/7)、FM三重ラジ
オ番組企画打合せ(2/7・14・21)、会員名簿の
更新について

【企画調査委員会】

- ・ Sunshine Net掲載記事、平成25年度最新歯
科医療実態調査について

【災害時の対応・体制に関する委員会】

- ・ 大規模災害時歯科活動マニュアル(案)・歯科
診療所災害時の業務継続ガイドブック(案)及び
その見積もりについて

【がん患者歯科医療連携事業に関するプロジェク トチーム】

- ・ 第1回打合せ会(2/7)、病院歯科へのアン
ケート依頼について

協議事項



1. 機構改革について

- ・ 機構改革特別委員会報告書について

- 平成25年度事業計画・予算計画について
- 第2回臨時代議員会の招集並びに附議事項に
ついて
- 会務並びに事業の運営について
 - ・ 振り込め詐欺等に向けた対策協力について
 - ・ 第12回警察歯科医会全国大会の参加について
 - ・ 25年度事業に関する記者発表について
 - ・ 互助会制度改正時の会員への周知について
- 定款第12条に該当する退会通知の送付につい
て

教育資金の一括贈与の非課税措置の創設

Q：子や孫への教育資金の一括贈与の非課税について教えてください。

A：「教育資金の一括贈与の非課税措置」は、平成25年3月29日に成立した平成25年度の税制改正法案の一つです。

現行法（相続税法）においても、親が子、祖父母が孫のためにお金を使う場合、教育費や生活費を使う都度贈与した場合は、原則非課税となっています。今回の改正案では教育・人材育成をサポートするため、子や孫に対し行われる教育資金の贈与について一定の額を非課税とする措置が講じられることとなります。使い道が教育資金に限られますが、現行法のようにその都度ではなく、**まとめて一度に贈与することができる**のがポイントです。教育資金の一括贈与に係る贈与税の非課税措置の概要は次のとおりです。

この教育資金の一括贈与に係る贈与税の非課税措置は、平成25年4月1日から平成27年12月31日までの3年間の時限措置です。

項目	適用条件・内容等
贈与者	直系尊属
受贈者	30歳未満の直系卑属（子、孫、ひ孫等）
非課税限度額	贈与者が、金融機関に受贈者名義の口座を開設し、受贈者の教育資金に充てるために金銭を拠出した場合には、この資金について、受贈者ごとに1,500万円（学校等以外の者に支払われるものについては、500万円が限度）まで、非課税とされます。
教育資金	① 学校等に支払われる入学金その他の金銭 ② 学校等以外の者に支払われる金銭のうち一定のもの (注) 教育資金とは入学金、授業料、塾、習い事等で、具体的な範囲は、今後、文部科学大臣が決定します。
申告	教育資金非課税申告書（仮称）を金融機関経由で受贈者の納税地を管轄する税務署長に提出します。
払出確認	払い出した金銭を教育資金の支払いに充当したことを証する書類（領収書等）を金融機関に提出します。金融機関は教育資金に充当されたことを確認して記録をし、これらの書類等を受贈者が30歳に達した日の翌年3月15日後6年を経過する日まで保存します。
終了時	① 受贈者が30歳に達した場合、非課税拠出額から教育資金支出額を控除した残額（贈与税の基礎控除額110万円を超える部分）については、受贈者が30歳に達した日に贈与があったものとして贈与税が課税されます。 ② 受贈者が死亡した場合、非課税拠出額から教育資金支出額を控除した残額については、贈与税は課税されません。

なお、贈与者が贈与後に死亡した場合には、上記の一括贈与した教育資金1,500万円（または500万円）については、贈与者の相続財産に加算しなくてもよいことから、相続税の節税策になります。



公益社団法人 三重県歯科医師会 会長予備選挙結果について

標題の選挙については、選挙規則により平成25年3月7日に立候補の届け出を締め切りましたが、定数を超えなかったため、同規則第35条により下記のとおり当選が決定致しましたのでお知らせします。

記

会長予備選挙当選人

伊勢市曾祢1丁目6-3 田所 泰



2月・3月会務日誌

Association Diary

2月

- | | | |
|----|---|---|
| 1日 | 三重県公衆衛生審議会地域・職域連携部会
に中井副会長出席 | ジェクトチーム打合せ会、第2回鈴鹿地区
地域8020運動推進協議会、第2回松阪地区
地域8020運動推進協議会開催 |
| 2日 | 社会保障委員会開催 | 伊賀歯科医師会社会保障講習会に大杉常務
理事、稲本理事出席 |
| 3日 | 全国7地区日本歯科医師会平成24年度災害
コーディネーター研修会が静岡県にて開催
され、芝田専務理事、辻常務理事、羽根常務
理事、熊谷理事、桑名理事、陣田会員出席 | 10日 学校歯科保健研修会開催 |
| 5日 | 理事会開催 | 12日 三重県医療審議会救急医療部会に田所副会
長出席 |
| 6日 | 三重県医療審議会災害医療対策部会に芝田
専務理事出席
三重県後期高齢者医療広域連合運営協議会
に田所副会長出席
日本歯科医師会成人歯科保健・産業歯科保
健に関する打合せ会に羽根常務理事出席 | 13日 日本学校歯科医会加盟団体長会議に中井副
会長出席
14日 三重県立公衆衛生学院一般入学試験に田所
副会長出席 |
| 7日 | がん患者歯科医療連携事業に関するプロ | 第2回南勢志摩地区地域8020運動推進協議
会、第1回伊賀地区地域8020運動推進協議
会開催 |



- 16日 子育て応援！わくわくフェスタに杉原理事、福森理事出席
- 17日 子育て応援！わくわくフェスタに羽根常務理事、右京公衆衛生委員出席
- 21日 郡市会長会議、第4回機構改革特別委員会、災害対応における高齢者への食支援及び口腔ケア研修会開催
第16回中規模県歯科医師会連合会に峰会長、芝田専務理事出席
- 22日 第115回都道府県会長会議に峰会長出席
- 23・24日 社会歯科学研究会冬季研修会が福岡県にて開催され、田所副会長、中井副会長、芝田専務理事出席
- 24日 医療安全研修会に桑名理事出席
- 25日 松尾浩一郎藤田保健衛生大学教授就任祝賀会に田所副会長出席
三重県要保護児童対策協議会代表者会議に羽根常務理事出席
- 28日 常務理事会開催
会長予備選挙立候補予定者事前説明会開催

3月

- 2日 生活歯援プログラムの実践に向けた研修会が東京都にて開催され、羽根常務理事出席
三重大学医学部附属病院がんセンター第6回市民公開講座に田所副会長、桑名理事出席
- 3日 伊勢地区歯科医師会社会保障講習会に大杉常務理事、辻(孝)理事出席
- 4日 准看護師試験委員会に太田常務理事出席
- 5日 理事会開催
三重県産業保健推進センター運営協議会に峰会長出席
三重県健康管理事業センター評議員会に峰会長出席
三重県救急医療情報センター理事会に辻常務理事出席
- 6日 伊勢保健衛生専門学校平成24年度卒業証書授与式に田所副会長出席
- 7日 選挙管理委員会、平成24年度公衆衛生委員・郡市公衆衛生担当者合同連絡協議会、広報編集・企画調査合同委員会開催
ユマニテク医療福祉大学卒業証書授与式に芝田専務理事出席
- 10日 平成24年度医療管理講習会（バイタルサイ
ンセミナー）、平成24年度県歯医療管理委員及び郡市医療管理担当者合同連絡協議会開催
三重県小児保健学会理事会に中井副会長出席
- 14日 三重県医療安全推進協議会に桑名理事出席
- 14・15日 日本歯科医師会第172回代議員会に峰会長、芝田専務理事出席
- 15日 日本歯科医師会第126回通常総会に峰会長、芝田専務理事出席
三重県介護予防市町支援委員会に羽根常務理事出席
- 17日 議事運営委員会開催
みえ・医療と健康を守る会役員会に芝田専務理事出席
- 19日 8020推進財団評議員会に峰会長出席
- 20日 第2回臨時代議員会開催
- 21日 郡市歯科医師会社会保障担当者・社会保障委員合同連絡協議会開催
三重県学校保健会理事会に中井副会長、羽根常務理事出席
三重県学校保健会評議員会に中井副会長、杉原理事、福森理事出席



- 23日 第4回東海信越地区歯科医師会会長・専務理事連絡協議会が静岡県にて開催され田所副会長、芝田専務理事出席
第3回東海信越地区歯科医師会会長・副会長・専務理事・日歯代議員連絡協議会が静岡県にて開催され田所副会長、中井副会長、芝田専務理事、羽根常務理事、太田常務理事出席
- 25日 三重県医療懇談会に峰会長出席
- 26日 都道府県歯科医師会情報管理担当理事連絡協議会に蛭川理事出席
がん患者医科歯科連携推進事業伝達講習会が東京都にて開催され芝田専務理事、羽根常務理事出席
- 27日 日本学校歯科医会総会に中井副会長出席
日本歯科医師会第4回税務委員会に太田常務理事出席

会員消息 Member's News

本会会員数 (4月1日現在)

正会員第1種(一般)	698名
正会員第2種(勤務)	21名
正会員終身	136名
準会員第3種(法人)	8名
準会員第4種(直属)	2名
長期の疾病等の会員	1名
計	866名

日歯会員数 64,858名 (2月28日現在)

新入会員



やまもと たかこ
山本孝子先生 (4. 1付)
診 桑名市寿町 3-67-2
水谷ビル 2F
山本矯正歯科
電話 0594-23-5468
FAX 同上
(桑員)



はっとり ゆきこ
服部由紀子先生 (4. 1付)
診 桑名市寿町 2丁目31-12
3F
ハート矯正歯科クリニック
電話 0594-87-7740
FAX 0594-87-7741
(桑員)



みやた あきお
宮田晃男先生 (4. 1付)
診 桑名市多度町多度
854-2
みやた歯科クリニック
電話 0594-48-3710
FAX 0594-48-5471
(桑員)



さくま たかひろ
佐久間貴裕先生 (4. 1付)
診 桑名市常盤町71
佐久間歯科医院
電話 0594-23-2388
FAX 同上
(桑員)



つげしんや
 柘植信哉先生（4. 1付）
 診三重郡朝日町小向925
 朝日つげ歯科
 電話 059-376-0888
 F A X 059-376-0889
 （四日市）



まつもとかずひさ
 松本和久先生（4. 1付）
 診津市観音寺町442-11
 津ファミリア歯科
 電話 059-246-8220
 F A X 059-246-8221
 （津）

診療所所在地変更

市場正訓先生（鈴鹿）
 鈴鹿市長太栄町3丁目17-20

診療所所在地、診療所名変更

宮田 保先生（桑名）
 桑名市多度町多度854-2
 みやた歯科クリニック

診療所名変更

齋藤 弘先生（津）
 さいとう歯科矯正歯科

F A X 番号変更

川村 康先生（四日市）
 （診）F A X 059-354-0603

林 竜一郎先生（鈴鹿）
 （診）F A X 059-395-6480

亀井貴彦先生（津）
 （診）F A X 050-3383-2665

診療所廃止

飯田陽一先生（津）

勤務先廃止

森本隆道先生（松阪）

勤務先変更

石濱信之先生（特別）
 津市広明町13
 三重県健康福祉部医療対策局健康づくり課
 電話 059-224-2294
 F A X 059-224-2340

謹んでおくやみ申し上げます



加藤千春先生（四日市）
 去る2月10日、お亡くなり
 になりました。
 享年88歳



谷崎幸夫先生（志摩）
 去る3月3日、お亡くなり
 になりました。
 享年96歳



新入会員プロフィール

Rookie's Profile

やまもと たかこ

山本孝子先生（桑員）

1. 学歴

高校 私立メリノール女子学院高等学校
大学 愛知学院大学（平成6年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

平成8年4月 愛知学院大学歯科矯正学講座
平成16年4月 山本矯正歯科

3. メッセージ

本年度、入会させていただくことになりました山本孝子と申します。

大学卒業後、矯正歯科の医局に入局し、矯正歯科を専門に勉強してきました。現在は

父の歯科医院で矯正治療を行っております。

私は小さい頃からピアノを習っておりましたが、現在はヴァイオリンを習っており、少ない練習時間ですが楽器を演奏することが好きです。クラシックの演奏会などを聴きに行くのも好きです。

最近は成人矯正も少しずつ増えてきておりますが、一人でも多くの患者さんに矯正治療をしてよかったと思っていただけるように、口を大きく開けて笑っていただけるように頑張っていきたいと思っております。

これからいろいろとお世話になりますが、よろしくお願い致します。

はっとり ゆきこ

服部由紀子先生（桑員）

1. 学歴

高校 三重県立四日市南高等学校
大学 広島大学（平成11年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

平成12年4月 広島大学病院矯正科
平成18年4月 井藤矯正歯科（広島市）

3. 開業年月日

平成25年5月11日

4. メッセージ

四日市市で生まれ育った私ですが、気が付くと広島に19年も暮らしていました。

広島での19年を振り返ってみると、大学では硬式テニス部や茶道部に所属し、それぞれ夢中になっていたことを思い出します。例えば、茶道を始めると、着物、茶花、陶磁器、懐石料理、歴史と興味もどんどん広がり、人との繋がりも同じことが言えました。その後も、パン教室やマナー教室に顔を出したりと、趣味や興味、人との繋がり

が広がり、充実した日々を送ってきたように思います。

そして、歯科医師としての仕事も、ご指導いただいた多くの先生方のおかげで、自らの道を進むことができたのだと今更ながら実感しております。

今後も、仕事では新天地となる三重県で、知識だけでなく、新たな人との繋がりを広げていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願ひいたします。





みやた あきお

宮田晃男先生（桑員）

1. 学歴

高校 私立暁高等学校

大学 愛知学院大学（平成15年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

平成16年4月 康生歯科医院

3. 開業年月日

平成25年4月1日

4. メッセージ

この度、入会させていただくことになりました宮田晃男と申します。

患者様一人一人に満足していただき、地域に貢献していけるような歯科医院作りを、スタッフ一丸となって目指していきたいと考えております。

趣味はお遊び程度のバスケットボール、

そして料理とお酒です。

まだまだ若輩者の私ですが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



さくまたかひろ

佐久間貴裕先生（桑員）

1. 学歴

高校 私立暁高等学校

大学 松本歯科大学（平成18年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

平成20年4月 愛知学院大学歯学部附属
病院

平成21年4月 佐久間歯科医院

3. メッセージ

この度、入会いたしました佐久間貴裕と申します。

大学時代は山歩き部及び日本拳法部に所属しておりました。とにかく身体を動かすことが大好きです。

趣味はスポーツ全般、映画鑑賞などです。

未熟者ですが少しでも地域の歯科医療に貢献できるよう努力していきたいと思っております。

何かとご迷惑をおかけするとは思いますが、ご指導のほどよろしくお願いします。





つげしんや
柘植信哉先生（四日市）

1. 学歴

高校 私立暁高等学校
大学 松本歯科大学（平成12年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

平成13年4月 藤田保健衛生大学
平成15年10月 国保蛭川村診療所
平成18年4月 医療法人寿光会
寿光会中央病院
平成19年4月 藤田保健衛生大学

3. 開業年月日

平成25年2月4日

4. メッセージ

今年度4月より入会させていただいた柘植信哉です。出身は四日市です。

今年2月に三重郡朝日町で開院しました。朝日町は人口増加が著しく、若い年齢層の多い元気な町です。

松本歯科大学卒業後、愛知県にあります

藤田保健衛生大学口腔外科に所属しておりました。口腔外科、有病者歯科治療の経験を生かし、小さなお子様から高齢者の方まで家族で来院していただける歯科医院にしたいと思います。

また、歯科医師会会員として、歯科医療を通して地域の皆様の健康維持促進に努めたいと思います。



まつもとかずひさ
松本和久先生（津）

1. 学歴

高校 私立三重高等学校
大学 愛知学院大学（平成18年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

平成19年4月 愛知学院大学臨床研修
平成20年4月 松浦歯科医院
平成22年9月 萩野歯科医院

3. 開業年月日

平成25年5月14日

4. メッセージ

はじめまして。

この度、津市観音寺町にて「津ファミリー歯科」を開院させていただき松本和久と申します。

地域の皆様の生活に微力ながら貢献できればと考えております。

先輩方が築いてこられた伝統を大切にし、歯科医師会の活動にも積極的に参加させていただきたいと思っております。

何かとご迷惑をおかけすると思っておりますが、温かいご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



		社会保険			国民保険		
		1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数	1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数
一般	本人	1.9	622.2	1,185.0	2.0	628.7	1,265.6
	家族	1.7	570.6	969.3			
後期高齢者医療		—	—	—	2.1	684.9	1,446.7

		社会保険			国民保険		
		1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数	1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数
一般	本人	1.8	620.4	1,125.2	1.9	629.5	1,210.2
	家族	1.6	569.2	932.0			
後期高齢者医療		—	—	—	2.0	679.1	1,387.2

こども110番の歯科医院



三重県歯科医師会では、「社会貢献活動の一環」として、三重県警、三重県、三重県教育委員会の協力のもと、日本の将来を担う宝である子どもたちを守るために、平成18年6月より「こども110番の歯科医院」制度を導入しました。これは、不審人物につきまといわれたり、声をかけられたりした子どもたちが歯科医院に駆け込んできた場合、子どもを保護し、警察への通報等の対応を行うものです。

私たちは、子どもたちの笑顔を守り、明るい地域社会づくりに少しでも協力していきたいと考えています。

●「こども110番の歯科医院」の皆様へ

三重県歯科医師会では「こども110番の歯科医院 対応マニュアル ― 子供たちを犯罪被害から守るために ―」を作成しています。ご活用下さい。



互助会の現況

Mutual Aid Association

(25年 2月 1日～28日)

第1部 (疾病共済)

入会	0名	退会	1名	累計	795名	2,347口
----	----	----	----	----	------	--------

収入累計	197,482,573円	{ 繰越 197,193,800円 入金 288,773円
------	--------------	----------------------------------

支出	540,000円
----	----------

残高	196,942,573円	定期	118,000,000円
		普通	58,942,573円
		国債	20,000,000円

療養給付：3名

死亡給付：0名

第2部 (火災共済)

入会	0名	退会	1名	累計	811名	849口
----	----	----	----	----	------	------

収入累計	108,244,522円	{ 繰越 108,202,937円 入金 41,585円
------	--------------	---------------------------------

支出	0円
----	----

残高	108,244,522円	定期	88,390,000円
		普通	19,854,522円

第3部 (災害共済)

入会	0名	退会	1名	累計	811名
----	----	----	----	----	------

収入累計	47,369,258円	{ 繰越 47,342,937円 入金 26,321円
------	-------------	--------------------------------

支出	0円
----	----

残高	47,369,258円	定期	22,300,000円
		普通	25,069,258円

(25年 3月 1日～31日)

第1部 (疾病共済)

入会	0名	退会	6名	累計	789名	2,329口
----	----	----	----	----	------	--------

収入累計	197,021,073円	{ 繰越 196,942,573円 入金 78,500円
------	--------------	---------------------------------

支出	2,969,560円
----	------------

残高	194,051,513円	定期	118,000,000円
		普通	76,051,513円
		国債	0円

療養給付：1名

死亡給付：1名

第2部 (火災共済)

入会	0名	退会	6名	累計	805名	849口
----	----	----	----	----	------	------

収入累計	108,250,912円	{ 繰越 108,244,522円 入金 6,390円
------	--------------	--------------------------------

支出	0円
----	----

残高	108,250,912円	定期	88,390,000円
		普通	19,860,912円

第3部 (災害共済)

入会	0名	退会	6名	累計	805名
----	----	----	----	----	------

収入累計	47,373,885円	{ 繰越 47,369,258円 入金 4,627円
------	-------------	-------------------------------

支出	0円
----	----

残高	47,373,885円	定期	22,300,000円
		普通	25,073,885円



三重県歯科医師 国民健康保険組合

MIE DENTIST NATIONAL HEALTH INSURANCE UNION

第134回通常組合会／保険料引上げ等を決議



2月21日(木)、三重県歯科医師国保組合の第134回通常組合会が開かれ、25年度の保険料について、後期高齢者支援金等賦課額を1,000円から2,000円に、介護保険料を3,200円から3,400円に

引き上げることを決めた。

組合会では武田理事長の挨拶に続いて辻(哲)副理事長が平成24年度中間事業報告を、宮田監事が同中間事務監査結果報告を行い、その後上程された4つの議案について審議。第1号議案では、組合規約について保険料の引上げの他、応能割保険料に下限を設けて課税総所得金額が100万円未満の組合員には保険料を賦課しないこと(第9条第1項)や、組合員資格の適正な管理(第6条)に関する条文の改正が決定。さらに第2号議案で24年度補正予算について、第3号議案で25年度予算について、第4号議案で法令順守のための実践計画が決議された。

全協第60回通常総会



3月8日(金)、東京元赤坂の明治記念館で全国国民健康保険組合協会(全協)の第60回通常総会が開かれ、武田理事長と熊谷常務理事が出席した。会合では阿部正俊理事長からの中央情勢報告の他、事務局から保険者機能の充実に向けた国保組合共通システムの導入の進捗状況が報告された。議事では25年度の事業計画及び予算案等が議決され、新役員も選任された。

MIE DENTIST NATIONAL HEALTH INSURANCE UNION

現況

平成24年12月／平成25年1月

保険給付状況

		24年12月		
		件数	費用額	保険者負担額
療養給付費	当月分	3,716	47,089,818	33,374,019
	累計	31,225	409,812,014	290,559,784
療養費	当月分	100		425,660
	累計	945		3,690,850
高額療養費	当月分	30		2,586,027
	累計	271		23,995,212
移送費	当月分	—		—
	累計	—		—
出産育児一時金	当月分	1		420,000
	累計	35		14,700,000
葬祭費	当月分	—		—
	累計	3		380,000
傷病手当金	当月分	15		556,000
	累計	113		4,580,000

		25年1月		
		件数	費用額	保険者負担額
療養給付費	当月分	3,539	41,427,572	29,258,427
	累計	34,764	451,239,586	319,818,211
療養費	当月分	87		291,238
	累計	1,032		3,982,088
高額療養費	当月分	28		2,048,443
	累計	299		26,043,655
移送費	当月分	—		—
	累計	—		—
出産育児一時金	当月分	4		1,680,000
	累計	39		16,380,000
葬祭費	当月分	—		—
	累計	3		380,000
傷病手当金	当月分	12		582,000
	累計	125		5,162,000

収支状況

		24年度25年1月累計	
区分		金額	
歳入合計		1,087,644,713	
歳出合計		738,376,083	
収支差引残高		349,268,630	

		24年度25年2月累計	
区分		金額	
歳入合計		1,160,074,384	
歳出合計		821,064,903	
収支差引残高		339,009,481	

被保険者異動状況

		25年2月28日現在	
区分		被保険者数	前月との比較
組合員		2,654	△ 7
家族		1,752	△ 5
計		4,406	△ 12

		25年3月31日現在	
区分		被保険者数	前月との比較
組合員		2,652	△ 2
家族		1,746	△ 6
計		4,398	△ 8

三重県歯科医師 協同組合

MIE DENTIST COOPERATIVE UNION

第83回臨時総代会／平成25年度事業計画を決議



3月20日(水・祝)、三重県歯科医師協同組合の第83回臨時総代会が開かれた。武田理事長は冒頭の挨拶の中で、協同組合ホームページにおける有料バナー広告への協力について謝意を示すとともに、会員向けの歯科用貴金属斡旋販売の一層の活用を呼びかけた。

芝田専務理事から▽協同組合の平成24年度中間事業報告▽労働保険事務組合の平成24年度中間事業報告▽株式会社エムディの平成25年度事業計画及び予算一についての報告があり、熊谷理事からは貴金属斡旋販売の協同組合ホームページからの注文方法について詳しく説明された。



議事では、協同組合の平成25年度事業計画及び収支予算、平成25年度労働保険事務組合収支予算に関する議案に加え、(公社)三重県歯科医師会の役員任期の変更に伴い、協同組合通常総代会の開催時期を変更(4月→6月)するための議案と、25年4月1日からの協同組合役員として現役員を再選する議案が上程され、全て賛成多数で可決された。ただし、今回再選された役員は6月30日付で全員が辞任することが前提となっており、6月に開かれる第84回通常総代会で7月1日からの新役員が選出される。

三重県歯科医師協同組合

購入希望の組合員の方は、当組合宛にお申し込み下さい。

三重県歯科医師協同組合ホームページからオンラインでも購入できます。

歯科経理帳	(12か月分)	900円
収支日計表	(100枚綴)	600円
患者日計表	(100枚綴)	600円
領収書	(100枚綴)	450円
その他、保険診療情報提供文書各種等		

編集後記

Editor's Note

今年の4月から、FM三重で毎週金曜日午前10時から放送されている『はぴはぴ子育て』という番組に、約5分間の三重県歯提供コーナーを設けていただくことになりました。番組自体は生放送ですが、県歯提供のコーナーは事前に収録します。先日、4月放送の4回分の収録を行いました。この番組には以前にも県歯事業の告知等で出演したことはあったのですが、今回は対話式のコーナーなので「自然に話さなければ」と肩に力が入ってしまい苦戦しました。ある程度の台本は作って

あるので話す内容は決まっていますが、いざ録音となると四苦八苦。通常なら30分程度で終わるような分量だったのですが、倍以上の時間がかかってしまいました。ただ、私のような素人のしゃべりでも、プロの編集テクニックで切り貼りしてそれなりの形に仕上げただけのようです。当面、このコーナーは6月末まで続く予定です。一人でも多くのリスナーに、「歯の健康の大切さ」を届けることができると祈るばかりです。

(理事・熊谷 渉 記)



MORE 3D SERIES
3次元が回り出す「捉しき」の進化。

すべての人に、新しい感動を。



■AUGE SOLIO CT (A-mode)



■AUGE SOLIO CT (I-mode)



■AUGE SOLIO FPD パノラマ



■AUGE SOLIO CMOS セファロ

ニーズに合わせた MORE 3D SERIES のラインナップ



AUGE
アーム型X線CT診断装置
製品番号：2204ABZ0007000



AZ3000CT
アーム型X線CT診断装置
製品番号：2204ABZ0003401



Alphard
3DX 線CT装置
製品番号：2104ABZ0003400

	MORE 3D SERIES 撮影モード			
	AUGE SOLIO	AUGE	AZ3000CT	Alphard
CT A-mode	●	●	●	●
CT I-mode	●	●	●	●
CT D-mode	●	●	●	●
CT P-mode				●
CT C-mode				●
パノラマ	●	●	●	
セファロ	●	●	●	レイサム
TMJ	●	●	●	
上顎洞	●	●	●	
手帳巻	●	●		

※オプションです。

 私たちの「優しさ」は、進化のために Gently, it is for evolution.

朝日レントゲン工業株式会社 URL: <http://www.asahi-xray.co.jp> E-mail: sales@asahi-xray.co.jp

本社：〒601-8203 京都府京都市南区久世山町376-3 TEL:075-921-4330 FAX:075-921-6675

※日本国内の各拠点の詳細につきましては、WEBサイトに掲載しております。

ISO 13485 医療機器品質マネジメントシステム認証取得
ISO 9001 品質マネジメントシステム認証取得
ISO 14001 環境マネジメントシステム認証取得

レディオ キューブ FM 三重
radio³ JONU 78.9MHz

はぴはぴ子育て
毎週金曜日 10:00 ~ 10:55

西本亜裕子

提供:子育てはいいおうち「ミザフホーム」 / 鈴鹿、四日市、伊勢の4店舗 100円で遊べるUSランド / 伊勢の助産院・エンジェルスマイルメモ

三重県歯科医師会提供の 新コーナーがスタート！

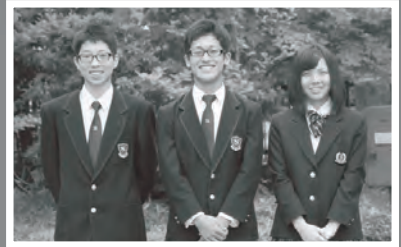
4月5日(金)からFM三重の人気番組「はぴはぴ子育て」で三重県歯科医師会提供の新コーナーがスタートしました。毎週金曜日、ラジオから子育て世代のために、子どもの歯の健康を守るための情報をお届けしています。



公益社団法人三重県歯科医師会

医・歯学部現役合格を目指して

本校卒業生



平成26年度入試 生徒募集

中学校160名・高校40名(新規)

本校は創立以来、毎年輝かしい進学実績をあげています。特に医学部・歯学部への合格率は、全国でトップクラスです。またそのほとんどは現役合格で、予備校にも通わず、学校の授業と補習のみで合格しているのが特徴です。

創立以来の輝かしい合格実績

医学部				歯学部			
大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
東京大学 理科Ⅲ類	3	慶應義塾大学	3	北海道大学	2	昭和大学	58
北海道大学	2	防衛医科大学校	8	九州大学	2	愛知学院大学	12
東北大学	5	自治医科大学	2	東京医科歯科大学	5	大阪歯科大学	17
名古屋大学	2	産業医科大学	2	新潟大学	2	北海道医療大学	42
大阪大学	1	日本医科大学	34	岡山大学	1	岩手医科大学	32
九州大学	1	東京慈恵会医科大学	19	広島大学	2	奥羽大学	102
東京医科歯科大学	1	順天堂大学	48	九州歯科大学	4	明海大学	135
千葉大学	6	昭和大学	56	長崎大学	2	神奈川歯科大学	75
筑波大学	1	日本大学	68	鹿児島大学	2	鶴見大学	82
群馬大学	4	東京医科大学	50	東京歯科大学	63	松本歯科大学	79
新潟大学	6	東邦大学	76	日本大学・歯、松戸歯	128	朝日大学	32
山梨大学	7	東京女子医科大学	10	日本歯科大学・生命歯、新潟歯	176	福岡歯科大学	2

上記以外、国公立18大学55名 私立17大学863名

※数字は1982年～2012年度の延べ人数 ※順不同

学校・寮の見学は随時受付します。 入試室までお問合せください。

学校法人 秀明学園

全寮制

英国留学

全人英才教育

秀明中学・高等学校

〒350-1175 埼玉県川越市笠幡4792 ☎049-232-3311(入試室直通) <http://www.shumei.ac.jp>




秀明学園

検索

貴金属リサイクルと産業廃物処理は、 エキスパートの相田化学におまかせください。

私たちはこれまで、歯科分野のソリューションで着実な実績と信頼を蓄積してまいりました。
多くの経験により培った知識とノウハウを歯科の先生方にご提案いたします。
歯科分野の諸問題は、エキスパートの相田化学にご相談ください。

相田化学の歯科営業体制は、
リサイクル事業・クリーン事業・サポート事業の3事業で構成されています。

 <p>リサイクル事業 貴金属スクラップの高精度な分析・精練</p> <p>分かりやすく信頼できる分析と報告システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自社工場にて分析から精練 ● 最新機器による高度な分析 ● お預かりから精算まで素早い対応 	 <p>クリーン事業 感染性産業廃棄物・現像定着廃液、石膏などの回収</p> <p>感染性産業廃棄物は処理ルートの厳しい特別管理の産業廃棄物です</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医療廃棄物の適正処理 ● 行政報告書等の作成 ● 処分業者の選定も厳密に行っております 	 <p>サポート事業 デンタルヘルスアソシエート</p> <p>先生方の学研活動をバックアップいたします</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スタディグループ、同窓会会合、各種理事会等の会場をご提供 ● 歯科医師会等で催される学術講演の講師手配のお手伝い ● より質の高い診療技術のバックアップとして、定期コースもご紹介します
---	---	---



社団法人日本金地金流通協会正会員

相田化学工業株式会社
名古屋営業所

〒485-0825 愛知県小牧市下末五反田458番 TEL.0568-42-6713 FAX.0568-42-6714

本社 東京都府中市南町6-36-2

支店/営業所/出張所

札幌、仙台、郡山、新潟、東京、神奈川、埼玉、千葉、甲府、静岡、長野、名古屋、大阪、広島、九州



歯科用硬石膏

ネオプラムストーン



ネオプラムストーンは
微細化された優良なα型半水石膏を基材としたことで、
高強度で表面滑沢性に優れた緻密な模型の製作を実現。
しかも様々な作業の利便性をアップできるよう、
イエロー、ブルー、ホワイト、グリーン、ピンク、グレーと6色の
パステルカラーを用意しました。

6カラーをラインアップ



イエロー ブルー ホワイト グリーン ピンク グレー

標準価格：
3kg シンプルバック入り
(1.5kg×2)
¥2,750 (消費税別)
一般医療機器24B2X0003000207

製造販売元

睦化学工業株式会社

〒510-0804 三重県四日市市万古町8-9 ☎ 059-331-2354(代) ☎ 059-331-1044
<http://www.mutsumikagaku.co.jp>



NKSJグループ

まごころって
保険にも
こめられるんだ。

この国でいちばんお客さまの声に応えられる保険会社へ

株式会社 損害保険ジャパン

三重支店 津支社

〒514-0004 三重県津市栄町 3-115

TEL.059(226)3011

ホームページアドレス <http://www.sompo-japan.co.jp>

会員好評受付中!

mint

三重インターネットサービス

ブロードバンドが未来をひろく!

mintはインターネットをトータルにサポートします。

<http://www.mint.or.jp/>

お問い合わせは

MDT 三重データ通信株式会社

TEL : 059-223-1818

E-Mail : info@mint.or.jp

クリアファイル®マジエスティ® ESフロ-

— 新登場 —

Low

研磨がラク! ツヤが続く!

充填がラク!

優れた機械的強度!



研磨をラクするフロアブル



管理医療機器 歯科充填用コンポジットレジン
クリアファイル®マジエスティ® ESフロ-
 医療機器認証番号: 224ABBZX00170000

Low

- 単品包装
- レジン充填材 (Low) (各2.7g/1.5mL)
(A1, A2, A3, A3.5, A4, A6, B1, B2, XW, A2D, A3D)
 - 付属品
ニードルチップ(N) (5個)
ニードルチップキャップ (5個)
メーカー希望小売価格 各4,200円



クリアファイル®クラブ

製品の使い方動画も見える
「クリアファイルクラブ」

<http://clearfil.dental-plaza.com/>



製造販売 クラレノリタケ デンタル株式会社 新潟県胎内市倉敷町2-28 〒959-2653
www.kuraraynoritake.jp
 連絡先 クラレノリタケ デンタル株式会社 東京都千代田区大手町1-1-3 〒100-0004
 (大手センタービル)

- ご使用に際しましては、製品の添付文書を必ずお読みください。
- 仕様及び外観は、製品改良のため予告なく変更することがありますので予めご了承ください。
- 掲載商品のメーカー希望小売価格は2013年2月21日現在のものです。メーカー希望小売価格には消費税等は含まれておりません。

販売 株式会社モリタ 大坂本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 Tel: 06-6380-2525
 東京本社 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 Tel: 03-3834-6161